



令和3年 12月議会 一般質問（要旨）

【子どもとネット環境について正しい知識の共有と対策を】

■ 1. ゲーム依存・ネット依存の市の課題認識は？



平成28年6月議会質問で取り上げた当時、ネット依存症の疑いがある中高生は、厚生労働省研究班の平成24年度の全国推計で、51万8千人と報告。その後、平成29年度時点の全国推計では93万人とあり、平成24年から平成29年の5年間でおよそ倍増しており、本市の課題認識について質問しました。教育総務部長からは【ゲームに熱中し、利用時間などを自分でコントロールできなくなり、日常生活に支障が出る病気、いわゆるゲーム依存や、日常生活の中で、インターネットの使用を優先してしまい、使う時間や方法をコントロールできない状態、いわゆるネット依存は、その患者の多くが未成年であるため、心身の発達に対する悪影響が懸念されています。本市においても、児童生徒の健康状態や生活リズムへの影響や、不登校の背景などに関係することから、取り組むべき課題のひとつであると認識しております。】との考えが示されました。

■ 2. 依存傾向を正しく掌握するため学校と保護者の環境づくりを！

子どもたちの依存傾向を定期的に調査する環境を整え、早期発見・早期対応をするため、学校と保護者とで連携強化するよう促していただきたいと要望したところ、教育総務部長からは【ゲーム依存・ネット依存は、主に、家庭での利用によって起きるものですので、これらを的確に把握するためには、学校と保護者との連携が不可欠であると考えます。そのために、まずは保護者会や保健だよりなどを通じて、ゲーム依存・ネット依存に関する正しい知識や情報を保護者に提供するとともに、家庭から積極的な情報が得られるように、連携を強化することから取り組んでまいります。】との考えが示されました。



【元町の変わりゆく街並みへレガシー創出を！】

■ 1. 古き良きうらやすの銭湯の持続可能性は？

境川上流域の堀江・猫実地区は、浦安発祥の地であり、歴史的な街並みが形成されてきた、古き良きうらやすを象徴する地域です。かつての漁師町うらやすにはどこにでもあった「銭湯」。令和元年に末広湯が廃業し、令和3年には米の湯が廃業、市内で最後の松の湯も令和3年4月以降で休業。たび重なる廃業で銭湯を存続してほしいとの声を頂き質問に取り上げました。市からの運営上の支援は【公衆浴場の環境整備に要する経費で年額20万円、支払った下水道使用料の補助、固定資産税額3分の2相当額を軽減】ということで、行政として行える最大限の支援は実施されておりました。今後、持続可能性を図るには、銭湯は公共施設ではなく民間事業者であるため、利益を上げるための創意工夫が必須要件。引き続き民間の知恵や民間資金も探りながら、持続可能性を探っていきます。



【地域一帯と多方面をつなぐ水辺のネットワーク形成を！】

■ 2. 旧江戸川ロードを行き交うための連続性を持たせたロードを！



完成した旧江戸川ロード



旧江戸川護岸が一部開放となり、ペットの散歩に訪れ、ジョギング・ウォーキングなど活用が進んでいます。完成したロードとの連続性を持たせるため、直接、堀江橋への階段など、技術的な設置の可能性を質問。市長からは【旧江戸川護岸から堀江橋へのアプローチとして、階段などの設置については、河川管理用道路の幅員を確保する必要があり、バリアフリーに対応した階段もしくはスロープを設置することは困難であると考えておりますが、例えば、しおかぜ緑道へ下りる横断歩道を引き、しおかぜ緑道と護岸との一体的な散策ルートなど、今後様々な可能性について検討してまいります】との考えが示されました。

公明党 いちせ 検索

皆様からの声をお聞かせ下さい！ 浦安市議会議員 一瀬健二

浦安市東野1-26-1-220
連絡先 080-9804-9734
Email: kichise4649@gmail.com
発行: いちせ健二 後援会



市民相談は
LINE・メールで
お気軽に！



LINE QRコード

日常の活動報告は
ホームページで →



ホームページ